

平成23年(2011年)5月21日 土曜日

片岡市長(市役所)とあいさつするEVの前へ帰還した



総社市EVが帰還

被災地医療支援で活躍

東日本大震災の医療支援で活動していた総社市所有の電気自動車(EV)「アイ・ミープ」が20日、市役所に凱旋帰還し、50人以上の職員が世界に名声をとどろかせたEVをねぎらった。

車両運搬車に乗せられた2台を前に、片岡聡一市長が「よくやったアイ・ミープ」とあいさつ。

三菱自動車工業水島製作所から南匠司管理部長も駆け付け「生産者として感激ひとしお」と喜んだ。

2台のEVは、AMD Aの被災地医療救援のため、3月中旬から5月上旬まで岩手県大槌町で活動。避難所以外への巡回診療で、149人の医療関係者が利用した。

今日8日には、米国紙ニューヨーク・タイムズにも紹介され、全世界に「総社市」の名前とEVの活動が発信された。

AMD Aの小池彰和ボランティアセンター長は「ガソリン不足の中で非常に助かった。この2台の力を世界が認めた」と話していた。